

結果の概要

I 第1回調査時の独身者の結婚の状況

1 この7年間の結婚の状況

第1回調査時の独身者のうち、この7年間で結婚した割合は、男女とも第1回の年齢が25～29歳の階級が最も高い。

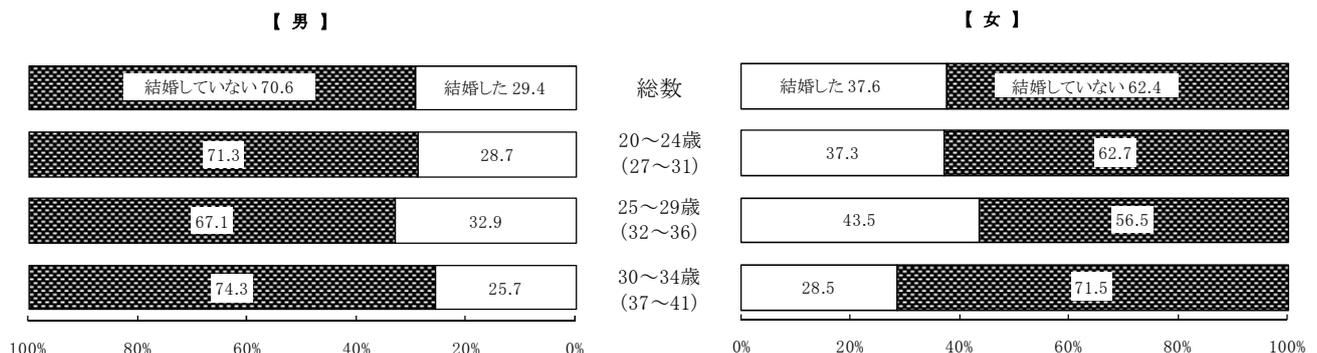
第1回の独身者のうち、男はこの1年間で3.5%が結婚し、この7年間で結婚したのは29.4%となった。女はこの1年間で5.0%が結婚し、この7年間では37.6%となった。男女とも、第1回の年齢が25～29歳の階級が結婚した割合が最も高く、男32.9%、女43.5%となっている。(表1、図1)

表1 性、年齢階級別にみたこの7年間の結婚の状況

		第1回調査時の配偶者の有無			この7年間の結婚の状況			
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した	第7回調査から	結婚していない	
						第8回調査間		
第1回調査時の年齢階級 ()内は第8回調査時	男	(100.0)	100.0	36.4	62.6	18.4	2.2	44.2
	20～24歳 (27～31)	(25.6)	100.0	5.0	93.9	26.9	4.3	67.0
	25～29歳 (32～36)	(32.8)	100.0	30.7	68.0	22.4	2.1	45.7
	30～34歳 (37～41)	(41.6)	100.0	60.1	39.0	10.0	1.0	29.0
	女	(100.0)	100.0	45.1	54.0	20.3	2.7	33.7
	20～24歳 (27～31)	(26.4)	100.0	6.7	92.5	34.5	5.8	58.0
	25～29歳 (32～36)	(31.6)	100.0	40.9	58.4	25.4	2.6	33.0
	30～34歳 (37～41)	(42.1)	100.0	72.3	26.6	7.6	0.8	19.0

- 注：1) 集計対象は、第1回調査から第8回調査まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この7年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 第1回調査時の配偶者の有無の総数には、配偶者有無の不詳を含む。
 4) []内は、第1回調査時に配偶者なしであった者を総数としたこの7年間の結婚の状況の割合である。
 5) 7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図1 性、独身者のこの7年間の結婚の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回調査から第8回調査まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この7年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 年齢は第1回調査時の年齢である。()内は第8回調査時の年齢である。
 4) 7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

2 就業形態別にみた各回の状況

男女ともに、仕事が非正規の者より、正規の者のほうが結婚した割合が高く、その傾向は男性の方が顕著である。

各回調査時の独身者について、就業形態別に次回調査までの結婚の状況をみた。

この7年間の平均をみると、結婚した者の割合は、男で「正規」6.3%、「非正規」2.1%、女で「正規」7.7%、「非正規」5.7%となっており、「非正規」より「正規」のほうが結婚した割合が高く、その傾向は男性の方が顕著である。(表2、図2)

表2 性、各回調査時の就業形態別にみた次回調査までの結婚の状況

(単位：%)

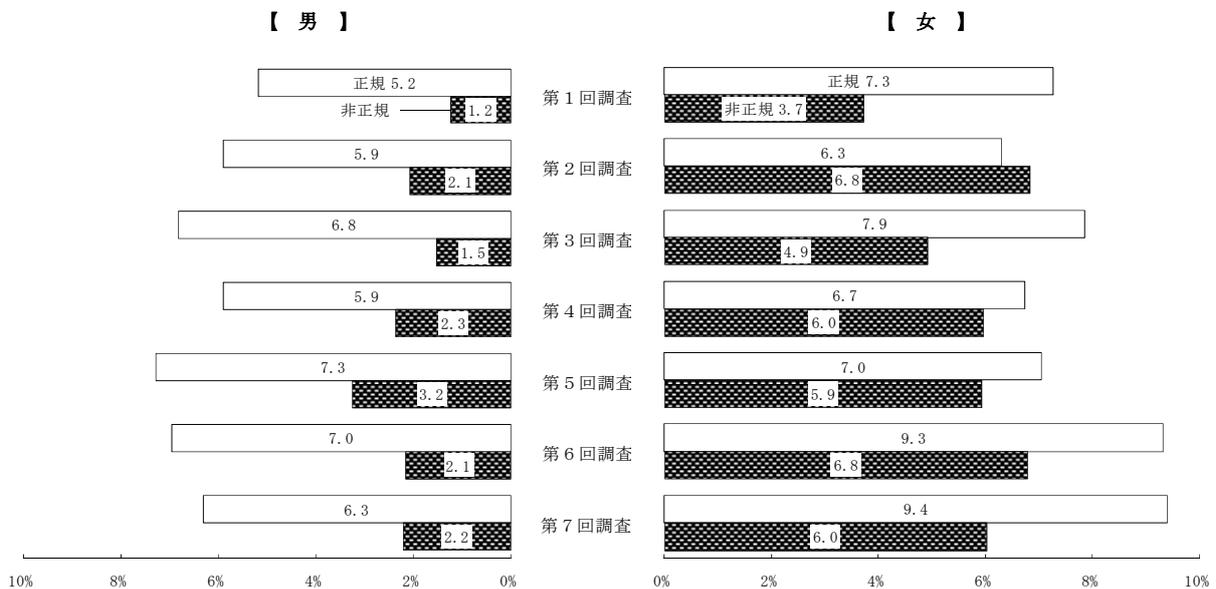
			男			女		
			総数	次回調査までに結婚した	次回調査までに結婚していない	総数	次回調査までに結婚した	次回調査までに結婚していない
各回調査時の独身者の正規・非正規	第1回調査	正規	100.0	5.2	94.8	100.0	7.3	92.7
		非正規	100.0	1.2	98.8	100.0	3.7	96.3
	第2回調査	正規	100.0	5.9	94.1	100.0	6.3	93.7
		非正規	100.0	2.1	97.9	100.0	6.8	93.2
	第3回調査	正規	100.0	6.8	93.2	100.0	7.9	92.1
		非正規	100.0	1.5	98.5	100.0	4.9	95.1
	第4回調査	正規	100.0	5.9	94.1	100.0	6.7	93.3
		非正規	100.0	2.3	97.7	100.0	6.0	94.0
	第5回調査	正規	100.0	7.3	92.7	100.0	7.0	93.0
		非正規	100.0	3.2	96.8	100.0	5.9	94.1
	第6回調査	正規	100.0	7.0	93.0	100.0	9.3	90.7
		非正規	100.0	2.1	97.9	100.0	6.8	93.2
	第7回調査	正規	100.0	6.3	93.7	100.0	9.4	90.6
		非正規	100.0	2.2	97.8	100.0	6.0	94.0
単純平均	正規	100.0	6.3	93.7	100.0	7.7	92.3	
	非正規	100.0	2.1	97.9	100.0	5.7	94.3	

注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第8回調査まで回答を得られている者である。

2) 「次回調査までに結婚した」には、この7年間に結婚した後離婚した者を含む。

3) 7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図2 性、各回調査時の就業形態別にみた次回調査までに結婚した割合



注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第8回調査まで回答を得られている者である。

2) この7年間に結婚した後離婚した者を含む。

3) 7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3 就業形態の回数別にみた状況

過去3回の就業形態がすべて正規であるものと、すべて非正規であるものを比べると、正規で結婚した割合が高く、その傾向は男性の方が顕著である。

独身者について、過去3回の調査における就業形態の回数別に次回調査までの結婚の状況をみた。

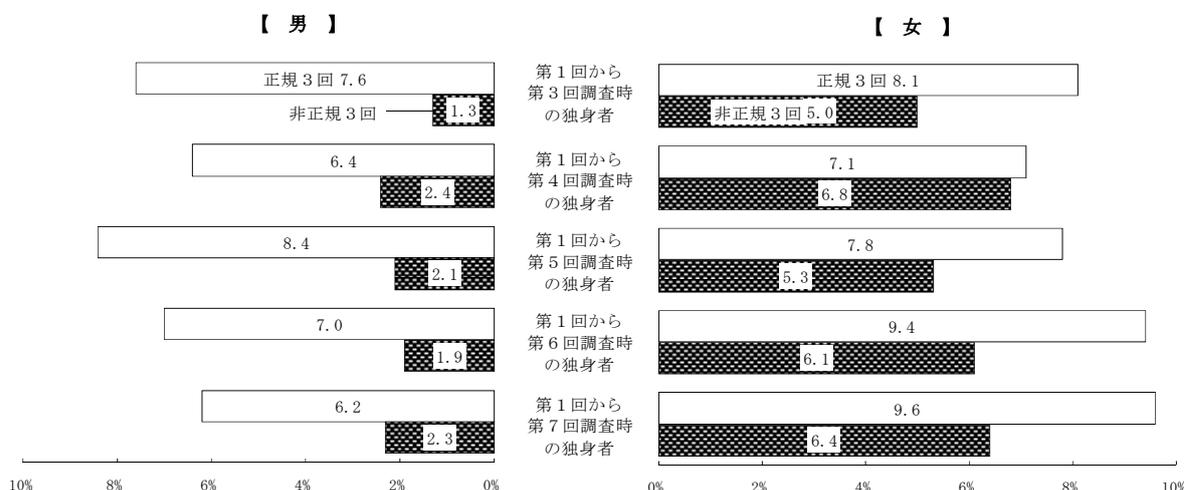
この5年間の平均をみると、結婚した者の割合は、男で「正規3回」7.1%、「非正規3回」2.0%、女で「正規3回」8.4%、「非正規3回」5.9%となっており、「正規3回」の方が、結婚した割合が高く、その傾向は男の方が顕著である。（表3、図3）

表3 性、各回の独身者の過去3回調査における就業形態の回数別にみた次回調査までの結婚の状況

		男				女				
		総数	次回調査までに結婚した	次回調査までに結婚していない	総数	次回調査までに結婚した	次回調査までに結婚していない			
独身者の過去3回の就業形態	第1回から第3回調査時の独身者	(100.0)	100.0	6.7	93.3	(100.0)	100.0	6.9	93.1	
	正規3回	(78.0)	100.0	7.6	92.4	(63.3)	100.0	8.1	91.9	
	第1回から第3回の就業形態	正規1回+非正規2回	(8.0)	100.0	7.6	92.4	(9.4)	100.0	4.1	95.9
		または正規2回+非正規1回	(14.0)	100.0	1.3	98.7	(27.4)	100.0	5.0	95.0
		非正規3回	(100.0)	100.0	5.5	94.5	(100.0)	100.0	7.1	92.9
	第1回から第4回調査時の独身者	(100.0)	100.0	5.5	94.5	(100.0)	100.0	7.1	92.9	
	正規3回	(77.1)	100.0	6.4	93.6	(62.0)	100.0	7.1	92.9	
	第2回から第4回の就業形態	正規1回+非正規2回	(7.6)	100.0	2.4	97.6	(10.5)	100.0	7.4	92.6
		または正規2回+非正規1回	(15.3)	100.0	2.4	97.6	(27.5)	100.0	6.8	93.2
		非正規3回	(100.0)	100.0	7.1	92.9	(100.0)	100.0	6.8	93.2
	第1回から第5回調査時の独身者	(100.0)	100.0	7.1	92.9	(100.0)	100.0	6.8	93.2	
	正規3回	(75.2)	100.0	8.4	91.6	(60.7)	100.0	7.8	92.2	
	第3回から第5回の就業形態	正規1回+非正規2回	(8.7)	100.0	5.1	94.9	(10.9)	100.0	5.7	94.3
		または正規2回+非正規1回	(16.1)	100.0	2.1	97.9	(28.5)	100.0	5.3	94.7
		非正規3回	(100.0)	100.0	5.9	94.1	(100.0)	100.0	8.2	91.8
	第1回から第6回調査時の独身者	(100.0)	100.0	5.9	94.1	(100.0)	100.0	8.2	91.8	
	正規3回	(75.5)	100.0	7.0	93.0	(60.4)	100.0	9.4	90.6	
	第4回から第6回の就業形態	正規1回+非正規2回	(7.8)	100.0	3.3	96.7	(8.8)	100.0	7.6	92.4
		または正規2回+非正規1回	(16.7)	100.0	1.9	98.1	(30.8)	100.0	6.1	93.9
		非正規3回	(100.0)	100.0	5.2	94.8	(100.0)	100.0	8.2	91.8
第1回から第7回調査時の独身者	(100.0)	100.0	5.2	94.8	(100.0)	100.0	8.2	91.8		
正規3回	(76.3)	100.0	6.2	93.8	(60.3)	100.0	9.6	90.4		
第5回から第7回の就業形態	正規1回+非正規2回	(5.0)	100.0	1.1	98.9	(6.5)	100.0	4.2	95.8	
	または正規2回+非正規1回	(18.7)	100.0	2.3	97.7	(33.2)	100.0	6.4	93.6	
	非正規3回	(100.0)	100.0	6.1	93.9	(100.0)	100.0	7.4	92.6	
単純平均	総数	(100.0)	100.0	6.1	93.9	(100.0)	100.0	7.4	92.6	
	正規3回	(76.4)	100.0	7.1	92.9	(61.3)	100.0	8.4	91.6	
	正規1回+非正規2回	(7.4)	100.0	3.9	96.1	(9.2)	100.0	5.8	94.2	
	または正規2回+非正規1回	(16.2)	100.0	2.0	98.0	(29.5)	100.0	5.9	94.1	

注:1) 集計対象は第1回調査時から第3回調査時まで独身で第8回調査まで回答を得られていて、なおかつ該当する過去3回が仕事ありで就業形態が正規・非正規の者である。
ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者、及びこの5年間で2回以上結婚している者を除く。
2) 過去3回に第2回調査が該当し、なおかつ仕事ありの場合は、主に通学している者を除く。

図3 性、各回の独身者の過去3回調査における就業形態の回数別にみた次回調査までに結婚した割合



注:1) 集計対象は第1回調査時から第3回調査時まで独身で第8回調査まで回答を得られていて、なおかつ該当する過去3回が仕事ありで就業形態が正規・非正規の者である。
ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者、及びこの5年間で2回以上結婚している者を除く。
2) 過去3回に第2回調査が該当し、なおかつ仕事ありの場合は、主に通学している者を除く。

4 所得額別にみた状況

男女ともに、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。

第3回の独身者について、「結婚した」は結婚前調査時の、「結婚していない」は第7回調査時の所得額階級別に、この5年間の結婚の状況をみた。

男女ともに、「400万円以上500万円未満」で、「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。特に、男では、最も低い「100万円未満」で12.2%、最も高い「400万円以上500万円未満」で32.6%と、20.4ポイントの差がある。(表4、図4)

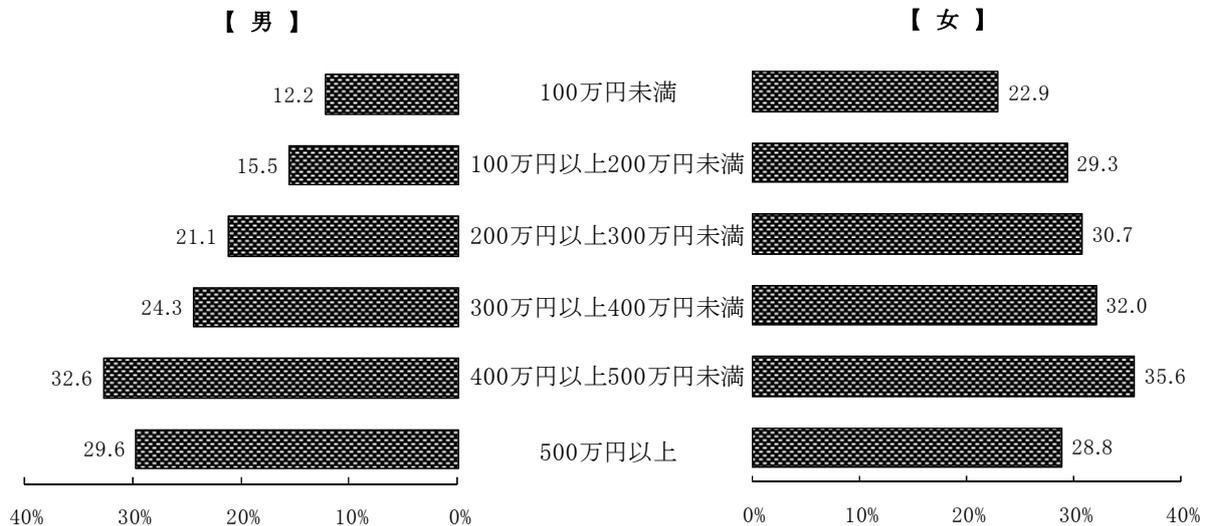
表4 性、所得額階級別にみたこの5年間の結婚の状況

(単位: %)

所得額	総数	男			女			
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない	
総数	(100.0)	100.0	23.1	76.9	(100.0)	100.0	29.6	70.4
100万円未満	(10.6)	100.0	12.2	87.8	(11.5)	100.0	22.9	77.1
100万円以上200万円未満	(8.9)	100.0	15.5	84.5	(20.5)	100.0	29.3	70.7
200万円以上300万円未満	(20.0)	100.0	21.1	78.9	(29.7)	100.0	30.7	69.3
300万円以上400万円未満	(25.9)	100.0	24.3	75.7	(19.2)	100.0	32.0	68.0
400万円以上500万円未満	(13.9)	100.0	32.6	67.4	(7.6)	100.0	35.6	64.4
500万円以上	(11.3)	100.0	29.6	70.4	(4.9)	100.0	28.8	71.2

- 注: 1) 集計対象は、第3回調査時に独身で第8回調査まで回答を得られている者である。
 2) 所得額は、「結婚した」は結婚前調査時の、「結婚していない」は第7回調査時の状況である。
 3) 「結婚した」には、この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 4) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
 5) 所得額の「100万円未満」には所得なしを、総数には所得不詳を含む。

図4 性、所得額階級別にみたこの5年間に結婚した割合



- 注: 1) 集計対象は、第3回調査時に独身で第8回調査まで回答を得られている者である。
 2) 所得額は、結婚前調査時の状況である。
 3) この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 4) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
 5) 所得額の「100万円未満」には所得なしを含む。